

# ふたじま小だより



## いろいろな行事のあった1月でした!!

1月は「行く」2月は「逃げる」3月は「去る」。よく言われる1月が行ってしまいました。9日の始業式から、たった17日でした。それでも、たくさんの出来事があり、子どもたちにとって、よい思い出ができたと感じています。

まずは、1月16日に行われた1年生が地域の方と交流する「昔遊びの会」です。竹馬・こままわし・お手玉・あやとり・けんだま・竹とんぼ・ぶんぶんゴマなど、さまざまなコーナーを作り、地域の方々に先生となっていただき、昔の遊びを教えていただきました。市民センターの館長さんを始め、18名もの方々が集まってくださって子どもたちに優しく楽しく遊びを伝授してくださいました。大人も子どもも本当に楽しい時間を過ごすことができました。(昔遊びの様子については、ホームページの二島フォトをごらんください)以下は、子どもたちの感想です。

- こままわしがぜんぜんできなかつたけど、おしえてもらって、できるようになりました。
- けんだまは、れんしゅうしたので、6かいれんぞくおさらののようになって、うれしかったです。

- お手玉が何回もできるようになって楽しかったです。
- たくさんおしえてもらって、竹とんぼがとおくにとばせるようになりました。
- ぜんぶとっても、たのしかったです。ありがとう。また、きてください。

### 1月26日の持久走記録会(1・5・6年生)

当日はたくさんの保護者の方に応援いただいて、子どもたちは普段より張り切ってパワーアップしたようです。記録がずいぶん伸びていました!

人と比較することではなく、自分の限界にチャレンジすることを大切にしながら、体力アップを目指してきました。1年生は初めての記録会にワクワクドキドキし、一生懸命に走る姿がほほえましかったです。上級生はこの会の目的を明確に理解しながら、「昨日の自分に勝つ」という気持ちで頑張る姿が素晴らしいと感じました。以下は、今年最後の記録会を終えた、6年生の感想です。このプリントの裏面をご覧ください。4人の子どもたちの感想を掲載しています。



### 2月・3月のおもな行事予定



#### <2月>

- 1日(木) 持久走記録会(2・3・4年)・委員会活動
- 2日(金) 中学校説明会
- 5日(月) なのはな合同交流会
- 6日(火) 新1年生入学説明会
- 8日(木) クラブ活動
- 9日(金) 七輪体験
- 14日(水) 学習参観(5校時)
- 15日(木) クラブ活動
- 21日(水) 薬物乱用防止教室
- 29日(木) 委員会活動・クラブ活動

#### <3月>

- 1日(金) 6年生を送る会
- 18日(月) 卒業証書授与式
- 21日(木) 給食終了
- 22日(金) 修了式



○ ぼくは、最初は走ることがあまり好きではありませんでした。でも先生に「終わったころには好きになっているかもしれんよ。」と言われて努力し始めました。毎日つらいけれど努力を欠かさず走っていたら、先生から言われた通り走るのが楽しくなってきました。日々、以前と比べて、自分がどれだけ進化しているか楽しみになりました。自分でも難しいと思える順位を目標にして努力をしました。

結果は、みんなも同じようにがんばっているので目標は達成することはできず悔しかったです。けれども、好きじゃないからといって逃げ出さなかったのは、自分の成長につながったと思っています。持久走は、とても楽しかったです。

<コメント>

「好きじゃないといって逃げ出さないことが成長につながった」この言葉が心に刺さりました。苦手なことにチャレンジするって、きついですね。それをあえて行って、乗り越えたとき、世界が変わるのです。

○ わたしは、保護者がたくさん来てくれてうれしかったです。6年生最後の行事で持久走が終わった後、うれしいのもあったしさみしいのもあって泣いてしまいました。ゴール後も泣いたし、先生の話や5年生の言葉が心にささって、もっと号泣しました。

1年生は、一生懸命に走っていて、感動しました。私の知っている1年生が最後まで走る姿を見て、これからもがんばってほしいなと思いました。

わたしたち6年生は残り少ない学校生活を、もっとみんなと過ごしたいなとも思いました。6年生を送る会もたぶん、泣くと思います。これからもみんなと仲よくしていきたいです。

<コメント>

「これが最後」と思うと、感動もひとしお。最終学年の6年生らしい気持ちが感じられました。一つ一つの学校行事を乗り越えてきた仲間と、最後の日々を充実させたいという気持ちがあふれています。

○ わたしは、1年生の応援に行って、スタートダッシュに感動しました。またとちゅうで、歩いていた子もすぐに走り始め、がんばりたいという気持ちが伝わり、その様子を見てわたしもがんばろうと思いました。

本番ではきんちょうしましたが、他の学年や保護者の方がいて、きんちょうがほぐれました。走っているときは、じょばんからきつかったけれど、コースに1~4年生が応援してくれていて、ちょっと泣きそうでした。走り切ってゴールをしたときはすごくうれしかったです。順位は変わらなかったけれど、今の自分の限界をこえられてよかったし、やっと先生から言われていたことが理解できました。この姿が、5年生に伝わたらうれしいです。

そのあと、友達から「おつかれさま」と声をかけてもらったのもうれしかったです。あと少して卒業ですが、みんなと思い出をたくさん作っていきたいです。

<コメント>

がんばっている人の姿は誰が見ても励まされるものです。それが1年生であっても、6年生であっても。がんばる姿をみんなが見ていますね。

○ わたしは、1年生が一生懸命に走っていて、びっくりしました。予想では、「半分くらい歩くかもしれないな。」と思っていましたが、ほとんどの1年生が歩いてなくて、すごいなと思いました。1年生がこんなにがんばっているのだから、わたしたち6年生もがんばろうと思いました。

1年生の本番では、とちゅうで転んだ子がいたけれど、泣かずに走り続けました。そんな1年生を見て、本当に勇気づけられました。（中略）

先生から「自分の限界を超えて」と言われたことを走っているときに思い出し、「スピードを上げろ!」と心の中で言ったら、走る速さがアップしました。そのおかげで一人ぬかせました。また、持久走にお母さんも来ていて「がんばれー!」と言ってもらったことでがんばれたと思います。

わたしは持久走がとても苦手です。でも、もう一回持久走をやりたいなという思いでいっぱいです。正直、楽しかったです。

<コメント>

先生の言葉を頼りにしながら、精一杯頑張っていたことが分かります。最後の「もう一回、やりたい」という言葉に、大人も励まされます。